



第1回JHFフォトコンテスト応募作品 多賀純一「北アルプス春2」

2012年を迎えて

公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟
会長 内田 孝也

遅ればせながら、皆さまに新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は東日本大震災をはじめ多くの自然災害が起き、未曾有の人災も発生し、さらに欧州経済危機の影響を被り、被災地以外でもたくさんの方が平穏な生活を乱される、たいへんな一年でした。ハング・パラグライディングの世界でもたいへんな年だったと感じます。競技の場では最新鋭機の締め出しという手段で安全マージンの確保が図られ、世界中の競技者や業界が巻き込

まれて、混乱を経験しました。また国内では、市街地への墜落死亡、一般人への加害、教習フライトでの死亡、疾病によるフライト中の絶命など、重大事故がいくつも発生しました。事故撲滅はわたしたちの重要な目標ですが、これまでの安全フライトのセオリーに加え、新たな研究が必要になってきていると感じています。

たいへんな年ではありましたが、昨年を締めくくる一字が「絆」であったように、JHFの東日本大震災被災地復

興応援プロジェクト「空はひとつ」に、フライヤーの皆さまから義援金や応援メッセージなど多大なご支援をいただきました。深く感謝申し上げます。今年も、わたしたちハング・パラグライディングコミュニティの住民も、フライヤーとして、そして日本人としての一体感をもって過ごしていきたいと思っています。

皆さま、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



JHFレポートはスポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています

JHF事務局が移転しました！

旧事務所は耐震基準を満たしていなかったため、2011年12月5日に移転しました。 新住所：114-0015 東京都北区中里1-1-1-301
TEL.03-5834-2889 FAX.03-5834-2089

求む、空の仲間のために頑張りたい人！

JHF常設委員会の次期委員を募集します

JHFには、下記の常設委員会があり、それぞれの委員たちは、ハンググライディング・パラグライディングの普及と発展のために、そして楽しくフライトできる環境を守るために、頑張っている活動しています。

委員の任期は2年間。現在の委員の任期が2012年3月31日に満了となるため、2012年4月1日からの次期委員を募集します。

JHFはもっとこんなことをすべきだ、現在の活動のここを促進または改善したいとお考えの方、大切な空の仲間のために何かしたいと思っているあなた、ぜひ立候補してください。委員としてJHFの事業推進に力を貸してくださいようお願いします。

委員会と役割（カッコ内は定員）

- ハンググライディング競技委員会（5名）
- パラグライディング競技委員会（5名）

ハンググライディング・パラグライディング両競技委員会では、競技ルールの改定、公認大会の審査、日本選手権への公式審判員の派遣、世界選手権参加選手の選抜等を行います。

- 教員・スクール事業委員会（6名）
教員・助教員の育成、検定等を行います。

- 補助動力委員会（5名）
補助動力飛行の全般に係わる事柄を担当します。

- 制度委員会（5名）
JHFの規程、制度の検討等を担当します。

- 安全性委員会（6名）
ハング・パラグライディングの安全に係わる業務、啓蒙促進、事故調査、事故統計、機体登録の審査などを行います。

- ハングパラ振興委員会（5名）
ハング・パラグライディングの普及振興に関する事業の検討、広報を行います。

応募方法と締切日

◆応募方法：

応募用紙に必要事項を記入して、JHF事務局にメール（ファイル添付）、ファクス、郵便などでお送りください。応募用紙は、JHFウェブサイトの「登録申請・各種用紙」の「JHF委員応募」からダウンロードしてください（ワードファイル）。ダウンロードができない方、ワード使用不可の方は、お手数ですが、事務局にご請求ください。

◆応募締切日：2012年3月5日

◆選任：理事会で選任を決定します。

◆任期：2012年4月1日～2014年3月31日

◆その他：

委員会活動には、交通費（実費）と日当（5,000円）等が支給されます。

不明点はお気軽にJHF事務局にお問い合わせください。

TEL.03-5834-2889

E-mail: info@jhf.hangpara.or.jp

今年は競技に参加しよう、観戦に出かけよう。

JHFでは、日本のパラグライディング・ハンググライディングをよりレベルアップするために、またフライヤー間の親睦を深めるために、競技のリーグ戦（ポイントシステム）を実施しています。対象となる競技会（大会）は各地で開催されており、新しい参加者を待っています。今年は選手としてエントリーしてみませんか。

パラグライディングのJ2リーグは、競技ビギナーにおすすめです。ハンググライディングシリーズも、気軽に参加できる大会があります。

また、競技は将来にという方、競技指向ではない方も、ぜひ観戦にお出かけください。

右の表は今年予定されているリーグ戦の大会です。詳しくは、JHFウェブサイトのPG競技委員会／HG競技委員会のページをご覧ください。

2012年の競技スケジュール（2012年1月20日現在確定の大会のみ）

パラグライディング		
日程	場所	リーグ等
3/3～4	2012スカイグランプリin紀ノ川	J1
3/24～25	パラグライディングアキュラシー in宮城三本木	A
3/31～4/1	スカイジャンボリー in南陽	J2
4/14～15	パラグライディングアキュラシ日本選手権in那須烏山	A
4/28～30	スカイグランプリin足尾	J1
5/24～6/6	パラグライディングアジア選手権（中国）	FAI
5/26～27	上越市長杯パラグライダー尾神カップ	J2
6/2～3	獅子吼高原カップ	J2
6/9～10	2012スカイグランプリin鳴倉	J1
6/12～18	パラグライディングアキュラシーアジア選手権（台湾）	FAI
7/28～29	2012スカイグランプリin河口湖	J1
8/4～5	パラグライディングアキュラシー in獅子吼	A
9/22～23	パラグライディングアキュラシー in南陽	A
10/27～28	新潟県知事杯争奪尾神岳スカイグランプリ	J1
11/3～4	2012スカイグランプリin岩国高照寺	J1
11/17～18	パラグライディングアキュラシー in朝霧	A
12/1～2	2012スカイグランプリinASAGIRI	J1
ハンググライディング		
日程	場所	リーグ
2/9～12	紀ノ川スカイグランプリ2012	HGS
3/16～20	2012板敷山スプリングフライト	HGS
4/29～5/3	ハンググライディング日本選手権in南陽	HGS

A：アキュラシー FAI：国際航空連盟 HGS：ハンググライディングシリーズ

飛行と健康

医師 立山 俊朗

元気に声をかけてテイクオフしていったパイロットが、突然意識を失って落ちてくる。いったい何が原因なのか。どうすれば飛行中の意識消失の確率を下げられるのか。以下は、パラグライダーでフライトを楽しんできた医師からの貴重なアドバイスだ。

心臓や脳の疾患で飛行中に意識消失

1月のある寒い日、Aさんは大きく旋回しながらランディング場近くの畑に落ちてきた。畑に横たわるその体には切り傷も出血もないが、意識はなく、声をかけても反応がない。胸の動きで呼吸があることは分かるが、舌根沈下のため十分な呼吸ができていない。頸動脈で心臓の拍動を確認すると、血圧も脈拍も正常である。頸椎に無理な力をかけないように注意しながら、3人がかりで慎重にヘルメットを外し、顔をやや横向きにして寝かせた。声をかけ続けても反応はない。救急車で救命救急センターに搬送した。

私は担当医の許可を得てAさんの検査と治療に付き添った。緊急CT検査を施行。くも膜下出血と判明し、そのまま入院となる。

Aさんは60歳代、エリアでよく飛ん

でいる温厚なベテランパイロットで、無茶をする人ではない。

同時に飛行していたパイロットの話では、Aさんは、ランディング場へ向かったと思ったら、畑の上で、はるか上空から大きく旋回しながら降り始めたという。Aさんは、くも膜下出血のために意識が低下していく中で、何とか対応しようと努力したものと思われる。くも膜下出血を起こした人が意識を保持できる時間は長くはない。

50歳代の医師が車を運転中にくも膜下出血を起こしたケースでは、直ぐに車を道路際に寄せ、そのまま車内に残ると助からないと思い、ドアを開けて道路上に転がり、その後意識を失っている。その医師の場合は2分程度の余裕しかなかったという。

上空で脳出血、くも膜下出血、激しい脳梗塞を起こすと、急速に意識レベルが低下するので、安全なランディングは難しい。しかし、手足の力が出なくなり、吐き気やおう吐、強い頭痛を伴いながらも、何とか意識が保たれているケースもあり、そういう場合は安全にランディングできる可能性がある。

66歳のベテランパイロットBさんは、Aさんの事故を目撃した3年後、ランディング場付近で旋回操作も行わずに近くの本立に翼を引っかけ5m程転落した。転落現場でBさんはいびきをかいて寝ていたが、再び立ち上がることはなく意識は消失していた。

私はこの3年間に、飛行中の意識消失を疑わせるケースを3件見聞きしている。飛行中の意識消失が年に何件発生しているかという正確なデータは見当たらなかったので、交通事故の場合を調べてみた。

運転手が死亡した交通事故のうち8～15%が、内因性急死によるものと言われており、中高年男性に多く発生している。ちなみに内因性急死とは外傷ではなく脳や心臓のトラブルで急死することである。このうち約8割が心筋梗塞などの虚血性心疾患で死亡しており、そのうち約7割は狭心症や心筋梗塞の既往症がある。また、別の報告で

は運転中の内因性急死患者の60%が生前に適切な治療を受けていなかったことが示されている。

突然死は日常生活でも見られ特別なことではない。突然死の原因は、心臓疾患による死亡と、脳卒中による死亡があるが、その頻度は5対1である。交通事故での内因性急死の死亡原因も同様であり、心臓疾患による死亡例が多い。同様なことが空の上でも起きていると推測される。

エアラインパイロットの場合は、6カ月毎に航空身体検査を受ける義務がある。高血圧や不整脈、心電図異常があると精密検査を受けなければならない。その結果により航空身体検査証が発行されるが、発行されない場合はパイロットとして飛行機に搭乗することができない。

ここまでやっても飛行中の脳疾患や心疾患による突然死は防げていない。

旅客機には機長と副操縦士が乗務しているが、2009年に米国で、機長と副操縦士が共に睡眠時無呼吸症候群で、突然、二人とも睡魔に襲われて目的地の空港を過ぎるというケースが発生した。旅客機にはオートパイロットがあるので飛び続けることはできる。しかし、私達のグライダーにオートパイロットはないし、自分一人しか乗っていない。

飛行中に起きるかもしれない重大疾患

次にパラグライダー・ハンググライダー飛行中に起きる可能性のある疾患をあげる（表-1に示す）。可能性の高い疾患は心臓疾患と脳疾患である。

【脳卒中】

脳卒中は表-1に示す脳梗塞、脳出血、くも膜下出血に分けられる。

脳動脈瘤の破裂確率は、40歳以上で1万人中4名である。しかし、破裂した場合は意識が急激に失われ、その死亡率は30%から40%である。空中で破裂すればグライダーの操作は確実にできなくなる。

著者

立山俊朗

タテヤマ シロウ

58歳

所属：緩和会 横浜
クリニック

理事長 医師

専門：ペインクリニック（痛みの治療）専門医

頭痛専門医

麻酔専門医 FAA認定

Aviation Medical Examiner

機械工学

趣味：日曜大工

パラグライダー（現在腰痛のため活動休止中）

軽飛行機免許習得中



脳出血は、出血箇所とその出血量で症状が変わる。意識が低下しない場合もあるが、一瞬で意識を失い、呼吸も止まることがある。

脳梗塞の場合は、よほど大きく血管が詰まらない限り意識まで急に低下することはないが、次第に症状は進んでいく。

このようなことが空で起きたら直ぐに降下するしかないが、ランディングまで時間が足りるかどうかは疑問である。日頃からの健康管理と無理をしないフライトが大切である。

では、脳出血はいつ発症しやすいか？

脳出血（血管の破裂）は寒い季節に多く、時間的には午前10時頃に発症することが多い。脳梗塞には明確な季節差はない

心筋梗塞や脳梗塞の患者さんはもとより不整脈、特に心房細動がある方に多い。心房細動がある方は、飛んでよいレベルかどうかを主治医と相談しておくべきである。

前述した運転中の内因性急死は中年の男性に多く、ほとんどは心血管疾患と脳血管疾患である。これらはすべて血管がらみの病気であり、高血圧や高脂血症などの成人病に関係する病気であるので、日常、病気とは縁がないと思っている人も、40歳を過ぎたら1年1回の健康診断は受けておくべきである。思わぬ発見があり驚くかもしれない。

【心筋梗塞・狭心症・不整脈】

不整脈や心筋梗塞、狭心症を経験したことのある人は、血圧の変動や寒さ、ストレスの負荷がかかることで血圧が急激に上がりやすいので要注意である。血管が寒さやストレスで急に狭くなり十分な血液が脳や心臓に到達しないと重大な症状へとつながるので、日頃から定期的に医療機関を受診する必要がある。また、フライト当日は処方されている薬、特に血圧の薬と心臓の薬は飲み忘れないように注意しなければならない。

さらに、長時間のフライトでは脱水も脳梗塞・心筋梗塞の引き金になるので、フライト中には適度の飲水も必要である。

また、冬のフライトでは、上昇気流にのり高度が急に上がり周囲気温の低下が起きますと、身体には大きな負担となり血圧も上がるので、全身の十分な防寒が必要である。寒いと感じたら無理をしないで、早めに降りてくることも大切な判断である。

まとめると、心疾患や脳疾患の病気にかかった経験のあるパイロットは、定期的に医療機関を受診し、薬は忘れずに服用し、寒さやストレスに対する対策を考えておくべきである。

これらの病気には無縁だと思っても、中高年者はすでにこれらの病気の予備群であるから、少なくとも寒さとストレス対策くらいは考慮した方が賢明である。

【血圧低下・血糖低下】

血圧低下や血糖低下による意識低下もまれに見られるが、これらは年齢に限らず発生する。高々度からの急激なスパイラル降下は、貧血気味の人や呼吸機能が低下している人には大きな問題を発生させる危険がある。

高々度（海拔2,500m以上、高山病が起きる人もいる高さ）での大気酸素は元々低下している。ここで身体に遠心力が掛かると血液は頭より足先に集

まり、十分な酸素が頭に行かなくなる。すると一時的に意識が消失する。いわゆるブラックアウトである。実際にこの症状を起こしたケースは国内でも報告されている。その前段階として視力の低下（グレイアウト）があるので、この段階で旋回を止めるべきである。直線に急降下すればこの減少は起きないので、直線飛行で降下の方が安全である。どうしてもスパイラル降下が必要な場合は、膝を腹部まで折り曲げた体勢で下腹部と下肢に力をいれ力むことによりブラックアウトを避けることも可能である。しかし戦闘機乗りではないのでスパイラル降下は中止するのが賢明である。

糖尿病の治療の初期でまだ血糖値が安定していない人は、糖尿病薬の服用と食事時間の関係で低血糖が起きることがあるので、しっかりと治療して血糖値が安定してからフライトするようにすべきである。また、フライト時は朝の食事は抜かないこと、フライト前に糖分補給（あめ玉）をするのは薬より効果的である。怖いのは高血糖より低血糖である。

正常血糖値は100mg/dlだが、血糖値が50mg/dlを下回ると、脳に十分なエネルギーが与えられなくなり、精神症

表－1. 飛行中に起きる可能性のある重大な疾患

【1】 脳	①脳梗塞（脳血管に血の塊が詰まる） ②脳出血（脳血管破裂） ③くも膜下出血（脳血管壁が薄くなってできた動脈瘤が破裂） ④低血圧（頭部）：旋回G（遠心力）による虚血
【2】 心臓	①心筋梗塞 ②狭心症 ③不整脈 細動（心臓から血液が送り出されない） ④胸部解離性大動脈瘤 腹部大動脈瘤破裂（出血による急激な血圧低下）
【3】 肺	①低酸素血症 COPD（慢性閉塞性気管支拡張症） たばこ 高々度 ②肺塞栓（肺血管が詰まる） ③気胸（肺がパンクする）
【4】 睡眠 （飛行中に寝てしまう）	①風邪薬と酒と疲労と肥満 ②睡眠時無呼吸症候群 ③抗うつ薬や安定剤と酒（薬物の影響）
【5】 激痛による意識消失	腎結石 尿管結石 痛風 緑内障発作 典型的偏頭痛 群発頭痛 耳管閉塞 これらは強烈な痛みにより、まれにだが意識消失（自律神経経由？）を伴うことがある。
【6】 失神発作	てんかん 突然失明

安全に飛ぶために

状を起こしはじめ、意識が低下し、重篤な場合は死に至る。これが低血糖発作である。大量の冷や汗、動悸、震え、頻脈、指先のしびれや震え、眠気などが先行しておきるので、症状が出たら、糖分補給と早めにランディングすることが大切である。糖尿病でインスリン注射を受けている人は自己の血糖パターンを把握し、早めの糖分補給が重要である。また、疲れを伴う長時間フライトは避けた方がよい。

【まとめ】

飛行中の病気によるパラグライダーやハンググライダーの墜落は、タンデムでパッセンジャーを乗せている場合は別として、事例であっても事故ではないと思う。通常ある確率でおきる身体的な反応（意識消失等）、車に乗っ

ていても街角を歩いていても起きるこの症状は、人である限り避けることができない面がある。しかし、このようなことが空中で起きると、墜落事故となって報道され世間からはグライダーは危険なスポーツと見られてしまう。私達はある程度高いリスクを納得した上で、自己責任でフライトを楽しんでいるが、年齢を重ねた私達はすでに成人病年齢（50歳、60歳？）に達している。健康に留意し、病気があればしっかり治療を受け服薬を忘れないこと、空では自分の身体の調子を考えて無理をしないで、適当に楽しんだら早めに降りることを考えた方がよい。そうすれば命を失わずに、長くこの楽しみを続けられる。そしてそれが大切な家族のためでもある。



自分の能力や体力、体調を考えて、無理せず余裕のあるフライトを心掛けたい。

参考文献

- 1 木村和彦ら「自動車運転中の内因性急死の実態と予防」『国際交通安全学会誌』25(2)、pp.27～32、2000年
- 2 Copland, A.R.: Sudden natural death at the wheel-revisited. Med. Sci. Law, 27(2), pp.106～113, 1987

■事故報告のお願い

JHFでは事故防止策の一環として、アクシデント、インシデント集の作成を予定しています。重大事故として報告されていない事故、即ちヒヤリ、ハット、インシデントの類がまだ多く見られると思われます。

ハング・パラグライディングのより一層の安全性確保を目指して、できる限り多くの事故関連情報を皆さまに提供できるよう、これらに関する報告もお寄せくださるようお願いいたします。

JHFウェブサイトの「安全性委員会」の「事故報告」にある「事故を報告する」ボタンをクリックすると事故報告フォームが表示されます。比較的簡単な作業で各項目を記入することができるようになっています。

ウェブサイトから以外でも、FAXやメール等でご連絡ください。是非ご協力をお願いします。

事故を防ぐのはあなた自身

新年を迎え、フライヤーの皆さんはまず「今年も安全飛行を」と願ったことでしょう。パラグライダーやハンググライダーで空を飛ぶことは、刻一刻と変化する自然が相手なだけに、どんな熟練者でも一歩間違えば事故を起こす恐れがあります。

非常に残念なことに、去年はパラグライダー3件（うち1件は飛行中に心停止したと思われる）、モーターパラグライダー2件、合わせて5件の死亡事故が発生。パラグライダーでランディング時、幼児に接触して重傷を負

わせるという事故も起きてしまいました。また、今年も年明け早々にハンググライダーの着水による死亡事故が発生しています。

事故は、あなたや大切な家族、仲間たちから多くを奪います。あなたは事故によって身体的自由や仕事、もしかしたらその命を失うかもしれません。

……と言われても、自分自身がそのような事故を起こすことはない、きっと多くの人が考えていることでしょう。しかし、自然の一部である私たち人間も日々変化しています。不調

の日もあれば、心身の経年劣化もあります。「私だけは大丈夫」と考えず、自分自身の安全、他者の安全、ひいては自由な飛行を守るために、自分の能力・体力を客観的に見て、謙虚な気持ちでフライトに臨んでください。

初心者からベテランパイロットまで全員が気持ちを新たに、事故ゼロをめざしていきましょう。

（前述の重大事故については、同様の事故を繰り返さないために今後発行のJHFレポート等で報告していく予定です。）

私たちは「無法者」になってはならない!

ハング・パラグライディング（動力を含む）の飛行制限について

かつて「ハンググライダーやパラグライダーは法律に規制されていない。だからどこでも自由に飛べるんだ」という時代がありました。未だにそう思っている方々も見受けられますが、実は、ハンググライダーやパラグライダーの普及に伴い、平成元年2月に当時の運輸省令である航空法施行規則の改定が行われ、ハンググライダーやパラグライダー（動力飛行を含む）が法律の文言として記載され、具体的に飛行の規制を受けることになったのです。

「法律なんて難しいこと、よくわからないなあ」というフライヤーは少なくないでしょう。しかし、日本で空を飛ぶ者の一人として、私たちはどんな規制を受けるのかを知っておかなければなりません。

特に、新しいエリアを開発する際や、クロスカントリータスクを行う競技会、個人のクロスカントリー飛行のルートを計画するときなど、法律に違反しないよう十二分な注意が必要です。また、平地からテイクオフできるモーターパラグライダーは、その手軽さゆえに、うっかり飛行禁止空域に入ってしまうことも考えられます。事故やトラブルを防止するために、法律の知識をしっかりと身につけることが必要です。

JHFでは、現在改定作業中のパラグライディング教本に、航空法規に基づく飛行制限について盛り込むべく検討中です。その内容は、ホームページやJHFレポート等にも随時掲載して、事故防止・法令遵守の啓蒙活動を進める予定です。今回は、最低限知っておかねばならないポイントを以下に紹介します。詳しくは、関連法規も参照してください。場合によっては罰則を受けることもありますので、気をつけましょう。

飛行しようとする空域の法律的な状況がよくわからない場合は、区分航空図（※）で確認するか、最寄りの空港の空港事務所に問い合わせる確かめましょう。

※区分航空図

日本航空機操縦士協会の発行。日

本を7区分し、公的な文書に基づき50万分の1の地図上に各種空域が図表化されている。自衛隊の訓練空域も含まれている。

*日本航空機操縦士協会ウェブサイトにて購入することができます。
http://www.japa.or.jp/shop/shop_top.html

(1) 飛行できない空域

ハンググライダー・パラグライダー（動力を含む）が飛行してはいけない空域（航空法第99条の2第1項）

1 航空交通管制圏の内側

通常、空港・飛行場の管制圏は半径5マイル（9km）の円筒形ですが、場所によっては半径が異なったり、上空が複雑に削られた形になっているので、エリアごとの確認が必要です。この中には飛んで入っても、飛び立ってもいけません。

自衛隊の飛行場についても、立川、厚木、百里基地ほか、航空自衛隊、海上自衛隊の基地が存在しています。また、航空自衛隊は訓練空域もありますので、航空自衛隊の基地への問い合わせも必要です。

*在日米軍基地周辺については、日本の航空法の適用外となっています。管制圏と同様、近付かないことが重要です。

2 航空交通管制区内の特別管制区

VFR（有視界飛行方式）による飛行が禁止された空域で、IFR（計器飛行形式）飛行が義務付けられます。15カ所の空港近辺の管制区が特別管制区として公示されています。

管制圏の外側で、航空機の交通の特に多い空域が指定されています。

千歳、三沢、仙台、成田、東京（羽田）、東海、名古屋、中部、大阪（伊丹）、神戸、関西（関空）、高松、福岡、宮崎、鹿児島

*飛行禁止空域でも、国土交通大臣が航空機の飛行に影響を及ぼすおそれがないものと認め、ま

たは公益上必要やむを得ず、かつ、一時的なものであると認めて許可をした場合は、飛行できる場合があります。

(2) 飛行の通報が必要な空域

ハング・パラグライダー（動力を含む）が飛行するために国土交通大臣（空港事務所）に通報しなければならない空域（航空法第99条の2第2項）

まず「通報」という言葉に勘違いをしないように気をつけましょう。電話やFAXで、一方的にフライトの予定を通知すればいいと考えてはいけません。近寄ることが予想される場合には、その空港の空港事務所に必ず問い合わせてください。以下、指定空域の説明です。

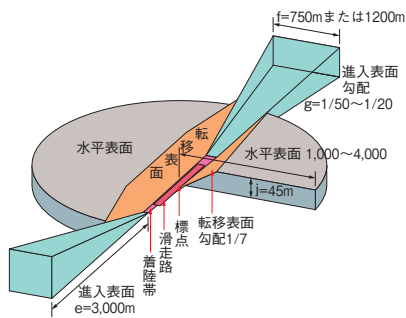
1 空港およびすべての飛行場の近辺であって、航空交通管制圏に隣接する延長進入表面、円錐表面、外側水平表面の上空の空域

*管制圏内に存在する進入表面、転移表面および水平表面は、当然飛行禁止空域となります。

2 航空交通管制圏が設定されていない空港およびその他のすべての飛行場の進入表面、転移表面、水平表面外側水平表面、延長進入表面、円錐表面の上空の空域

*航空交通管制圏が設定されていない飛行場には国土交通大臣が設置、または許可したヘリポートも含まれます。⑩とペイントしてあるヘリポートについてはほとんどが進入表面、転移表面、水平表面が設けられていますので注意が必要です。

次の図の中心は滑走路です。航空交通管制圏が設定されていない飛行場（ヘリポート）にも、進入表面、転移表面、水平表面が設けられていますが、このエリアは飛行禁止です。この進入表面、転移表面、水平表面の上空が「飛行の通報が必要な空域」に該当します。



空港事務所が通報を受理すると、その情報は航空機パイロットに提供されます。この航空情報（ノータム）は、航空関係者に提供、また飛行経路の指示等を行うことによって航空交通の安全を確保するとともに空域の有効かつ合理的な利用を図ろうという主旨で設けられています。

(3) 罰則について

航空法の飛行禁止または通報義務に違反した場合は、航空法に基づいた罰則が適用されます。十分に注意して、必要な問い合わせを怠らないようにしましょう。

1 航空法99条に定められた許可、通報についての罰則

航空法第150条第1項第10号にもとづき、50万円以下の罰金が科せられます。なお、航空法第159条の両罰規定にもとづき、違反行為者を罰するほか、その者が属する法人等に対しても50万円以下の罰金刑が科せられることがあります。

2 飛行の通報義務についての罰則

通報をせず、または虚偽の通報をした者は、航空法第161条第1項第3号にもとづき、30万円以下の過料が科せられます。但しこの罰則には両罰規定はありません。

ノータムの一例

平成23年3月発生の福島原発事故による飛行禁止区域の変更に係る航空情報（ノータム）の概要

1. 航空法第80条に基づき、以下のとおり飛行禁止区域を設定する。

期間：平成23年5月31日00時00分

（日本時間）から無制限

区域：北緯37度25分18秒 東経141度01分56秒（東京電力福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町及び双葉町）を中心とした半径20km以内の区域

高度：無制限

2. 以下の区域を運航する場合、常に緊急時に避難が可能な準備をしておくこと。

期間：平成23年5月31日00時00分

（日本時間）から無制限

区域：北緯37度25分18秒 東経141度

01分56秒（東京電力福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町及び双葉町）を中心とした半径20kmから30kmの区域

高度：無制限

参考

飛行禁止区域においても、航空法第80条の適用が除外されているため、以下の航空機は飛行することが可能です。

[1] 国土交通省、防衛省、警察庁、都道府県警察及び地方公共団体の消防機関の使用する航空機であって搜索又は救助を任務とするもの

[2] 上記の [1] の機関からの依頼または通報により搜索又は救助を行う航空機

[3] 合衆国のためにまたは合衆国の管理の下に、公の目的で運航される航空機等

教員・助教員更新講習会の報告

JHF教員・助教員の技能証の有効期限は3年間です。技能証更新の際は、JHF更新講習会の受講と、日本赤十字社や消防署等で行われる普通救急救命講座の受講が必要です。

更新講習会では、より安全な教習のために、実技はもちろん、安全啓蒙や保険について等、多岐にわたり学習します。今年度は12月末までに全国15ヶ所で更新講習会を開催、203名が受講しました。

今後も更新講習会を随時開催していく予定です。開催日程や会場はJHFウェブサイトでご案内します。



4月に青森県で開催した更新講習会から。



更新講習会の講師をつとめる教員検定員の研修も行っている。上は教習実技の研修中。



太田昇吾・内田秀子、初の栄冠。

2011 ハンググライダー日本選手権 in 足尾 報告：大会実行委員長 板垣 直樹

今回のハンググライダー日本選手権の舞台になったのは、茨城県足尾エリア。前は板敷エリアでの日選だったので、2年続けて茨城での開催となった。それには紆余曲折あるのだが、年内になって開催地が急遽決定され、10月6日から10日までの5日間にわたり競技を行った。

□タスク1

大会初日10月6日は、前線を伴った低気圧の通過で誰もが飛べないと思っていた中で行われた。日照はあるものの前日の雨と気温減率の悪い状況で、トリッキーな競技となった。

タスクはテイクオフ周辺を小さく回った後に高峰から飯田ダム・メインランゴールの44.8km。32中12人がメインランに降りる条件の中、第4ターンポイントを折り返したのは2人。太田選手が28.9kmを飛び、この日のトップとなる。

□タスク2

タスク発表後、5人の選手がテイク

オフした後、西風強風により競技キャンセル。

□タスク3

期間中、もっとも良いコンディションの3日目は、37.5km北上してから折り返してメインランゴールの82.9km。

テイクオフ後順調に高度は上がり、高峰上空で2,000mオーバーになる。先頭集団を引っ張る形でリードしたのは田中選手。折り返しの富谷山付近から海風の影響を受け雲が無くなり、コンディションは一変し、この日のトップも太田選手69.2km。

□タスク4

4日目は二つの高気圧に挟まれ減率も悪く渋めのコンディション。予想される東風を背にしたストレートゴールは群馬県藤岡の91.9km。

大半の選手がテイクオフ後ソアリングして上がるものの、テイクオフ付近は700m程でゴールに向かえずメインランに降りた選手が14人と多かった。

西にこぼれた選手も足尾から直接向かう選手と加波山から向かう選手とま

ちまちで、大きな集団になることも無かった。トップは大門選手の39.9km。

□タスク5

最終日となるこの日は気圧の谷間、北日本から伸びる前線の影響もあって日照も少なく、期間中最も渋いコンディションとなる。

タスクはTO→猿公園→燕鉄塔→難台山頂→国民宿舎つくばね→TO→役場→メインランの38.1km。

渋い中で着実に上げ距離を延ばしたのが鈴木選手の22.6km、この日のトップだ。また、この日は参加選手42人中半分以上の28人がミニマム以下となったが、磯本選手と内田選手の女子2名は21km以上の飛びをし、距離をのばした。

今大会は大会期間5日間で、4日成立となったが、気象条件に恵まれずゴール者が出るタスクが一日も無い大会となってしまった。そんな中で確実に距離を伸ばし、結果を残していった太田選手が初の日本チャンピオンとなった。また、地元で着実にトレーニング



ブリーフィングでタスク説明。



選手・役員集合。5日間、お疲れさまでした。



太田昇吾、テイクオフ。続いて逆転を狙う大門浩二が飛び立っていった。



総合トップ6。太田、会心の笑み。



女子トップ3。足尾育ちの内田が勝利。

した内田選手も女子チャンピオンとなった。

〔総合〕

- 1位 太田 昇吾 千葉県
2位 大門 浩二 茨城県
3位 小梶 溪太 茨城県

〔女子〕

- 1位 内田 秀子 東京都
2位 磯本 容子 和歌山県
3位 谷古宇 瑞子 栃木県

勝者の声

□日本選手権者 太田昇吾

昨年は東日本大震災を始め多くの天災に見舞われ、多くの困難を乗り越えてきた方々も多いと思います。

そのような年に、世界選手権の代表として戦えたこと、日本選手権が無事に開催されたこと、本当にありがたいことだと思います。応援していただいた方々に感謝しています。

日本選手権は秋のやや渋い条件の

中、4本成立全てでゴール者無しの距離勝負となりました。初日・2日目とデイリートップでしたが、世界選手権4位の大門さんがやはり実力では勝っていて、残り2本で猛追され、結果7点差の僅差での勝利となりました。やはりまだまだだなあ、と痛感した大会になりました。今年はさらに精進していきたいと思います。

今年も1年間すべてのスカイスポーツを楽しむ方々が安全に楽しくフライトすることを心より願っています。

□女子日本選手権者 内田秀子

優勝した時は、あまり実感がなかったのですが、周りの方々に「おめでとう」と言われてやっと嬉しくなりました。この場をお借りして「ありがとうございます！」と言わせて頂きます。

ホームエリアの足尾での開催ということもあり、サーマルポイントについて特に悩まず、ランディングに不安もなく、いつも通り飛ばせば良いという安

心感がありました。フライト時間はマイチですが、本数的には800本は飛んでいるホームエリア。気象条件に合わせた意識の切り換えができないことや、ガーグルの苦手意識など、克服していきたいことは沢山ありましたが、今までのフライト成果を少しは出せた気がします！

どちらかといえば、渋めなコンディションの大会でしたが、その分サーマルを発見した時の嬉しさや、サーマルを乗り継いで移動する面白さをしみじみ感じて飛べました。私は、飛んで降りるだけの悲しい日もありましたが、烏山手前アウト&リターンなど足尾らしいタスクも途中まで飛べて、楽しかったです。

周りにちやほやされて調子にのっている、ベテラン、若手の女子フライヤーの方々に鼻っばしを折って頂き、今後も向上心を持って飛びたいと思います。

2011年ポイントシステムランキング決定！

2011年12月31日で、ハンググライディング・パラグライディングの競技シーズンが終了。1年間のリーグ戦のランキングが下記のとおり決まりました。各選手の数字は年間合計ポイントです。

ハンググライディング

■HGシリーズ

〔総合〕

- 1位 伊藤 宙陸 3517
2位 板垣 直樹 3494
3位 田中 元気 3489

〔女子〕

- 1位 磯本 容子 2733
2位 谷古宇 瑞子 1678
3位 野尻 知里 1634

〔世界選抜〕

- 1位 伊藤 宙陸 204.57
2位 太田 昇吾 201.51
3位 大門 浩二 190.76

■HGクロスカントリーリーグ

- 1位 氏家 良彦 164.17km

パラグライディング

■J1リーグ

〔総合〕

- 1位 阿知波 広和 3648.4
2位 上山 太郎 3571.5

- 3位 成山 基義 3474.6

〔女子〕

- 1位 平木 啓子 3226.9
2位 高田 奈緒 2402.7
3位 伊藤 弥生 2402.0



イタリア、モンテクッコ。第18回FAIハンググライディング世界選手権より。

[シリアルクラス]

1位	和田 浩二	2953.9
2位	高田 奈緒	2402.7
3位	伊藤 弥生	2402.0

[シリアルクラス女子]

1位	高田 奈緒	2402.7
2位	伊藤 弥生	2402.0
3位	中目 みどり	2291.3

[国際選抜]

1位	上山 太郎	243.7
2位	呉本 圭樹	238.7
3位	成山 基義	223.7

■J2リーグ

[総合／女子]

1位	井川 絵美	2260.0
2位	橋本 みさ紀	1695.0
3位	庵 祥子	1518.0

■A（アキュラシー）リーグ

[スクラッチクラス]

1位	岡 芳樹	147.9
2位	横井 清順	116.0
3位	古賀 光晴	107.9

[ハンディキャップクラス]

1位	水野 良信	91.6
----	-------	------

2位	古田 岳史	80.1
----	-------	------

3位	柳井 邦弘	59.7
----	-------	------

[ルーキークラス]

1位	水野 良信	78.2
----	-------	------

2位	柳井 邦弘	25.3
----	-------	------

3位	山田 敏之	11.9
----	-------	------

[国際選抜]

1位	岡 芳樹	218.0
----	------	-------

2位	横井 清順	183.0
----	-------	-------

3位	山谷 武繁	173.1
----	-------	-------

■クロスカントリーリーグ

1位	中井 正人	合計221.0km
----	-------	-----------

2位	杉下 拓也	合計204.3km
----	-------	-----------

3位	中目 みどり	合計171.1km
----	--------	-----------

*最長飛行 竹内 俊二 75.7km



スペイン、ピエドライトで開催された第12回FAIパラグライディング世界選手権より。

訂正

195号（2011年10月25日発行）に以下の誤りがありました。ここに訂正しお詫びします。

□P5「第6回FAIパラグライディングアキュラシー世界選手権」の順位記載漏れ。

〔総合〕14位 横井清順

□P6「第18回FAIハンググライディング世界選手権」左上写真の説明、パイロット名に誤り。

誤：太田昇吾 正：氏家良彦

トップランカーから

■HGシリーズ

総合1位
伊藤 宙陸



2011年はハング世界選手権で日本勢が大健闘しましたが、日本の競技レベルが上がってきている中でシリーズランキングを勝ち取ることができて本当に嬉しいです。ハングの上位陣は負けん気が強く図太い性格の方が多く、気持ちで負けないことを意識したのが良かったと思います。

ハングの大会は技術を磨くには最高の舞台ですし、ゴールした後の達成感他では味わえません。最近の大会はベテランもビギナーもサラリーマンフライヤーも学生も全員が楽しめるコンセプトが増えていきます。ぜひ皆さん参加して一緒に飛びましょう！

■J1リーグ

総合1位
阿知波 広和



2011年のリーグ戦は、当初予定されていた初戦が震災による影響から中止になってしまったことに始まり、また、世界選手権の事故後のルール変更など激動の1年でした。

さらに、天候不順な週末が多く、成立した大会が少なかったことや、ジャパンリーグランキングの決定方法の変更もあり、運良くチャンピオンになれたと感じていますが、とても嬉しく思っています。

このようなリーグ戦ができるのも、大会主催者の努力と地域住民の理解があってこそだと思います。皆さん、ありがとうございます。

■Aリーグ

スクラッチ1位
岡 芳樹



2011年は野田でトーニングによる第1戦が6本成立と好調な出だしだったが、計6大会中4大会成立、そのうち3大会が成立2本のみだった。その中で幸運にも年間ランキングのトップになったのは喜ばしいが満足感はない。世界選手権でもいま一つの成績だったので、なおさらだ。6月台湾でのアジア選手権では何としてでも日の丸を揚げなければと思っている。そのために、3月にインドネシア、マレーシアでのワールドカップに参戦する予定だ。新しい選手もリーグに参加してきているので、もっとアピールして底辺拡大できるように努力したい。

こんなときどうする？！ フライヤーの質問

JHF事務局にはさまざまな質問が寄せられます。以下のFAQは『よくある質問ラインナップ』です。ご自分が当事者となったときに「どうしたらいいの？」と迷わないように、ぜひお読みください。

Q しばらく登録をしていませんでした。またフライトしたいのですが、どうやって登録手続きをしたらいいですか。

A JHF事務局に電話、FAX、メールのいずれかでご連絡ください。更新用の払込票をお送りしますので、お振込をいただいた日から1年か3年間の登録更新となります。

Q 登録料を振り込んだのに会員証が届きません。

A 会員証はお振込みをいただき約1週間以内にお送りしています。郵便事故も発生していますので、届かない場合はJHF事務局までご連絡ください。お振込み確認をして再送します。

Q フライヤー会員証を紛失しました。再発行をお願いします。

A 再発行には1,000円の申請料がかかります。払込票をお送りしますので、JHF事務局にご連絡ください。有効期限が迫っている方は、そのまま更新手続きのお手続きでも大丈夫ですので、お問い合わせください。

Q 引越しをして住所が変わりました。住所変更はどうすればよいでしょうか。

A 電話、FAX、メール等で、JHF事務局に、会員番号、お名前、新しいご住所、連絡先電話番号、携帯電話番号、メールアドレスをご連絡ください。

Q 引越しした場合、会員番号は変わりますか。

A 会員番号の下6桁は、皆様の通し番号ですので変わりません。

JA (JAPAN) の次の2桁は都道府県コードです。都道府県にまたがる引越しの場合は変わります。次回更新の時から新しい都道府県コード表記になります。

都道府県コードの次の「O (アルファベットのオー)」は、国際航空連盟 (FAI) によるクラス分けでハンググライダー、パラグライダーを示します。

Q 技能証を紛失しました。再発行をしてほしいのですが。

A 技能証申請書にて再発行申請ができます。申請書はスクールで用意していますので教員にお問合せください。もしくはJHF事務局にご請求ください。

申請者記入欄にご記入の上、再発行欄にチェックを入れて申請してください。パイロット証を取得して半年以上の方は顔写真の貼付も必要です。

申請料は1,000円です。申請書、お振込みを確認しましたら発行します。

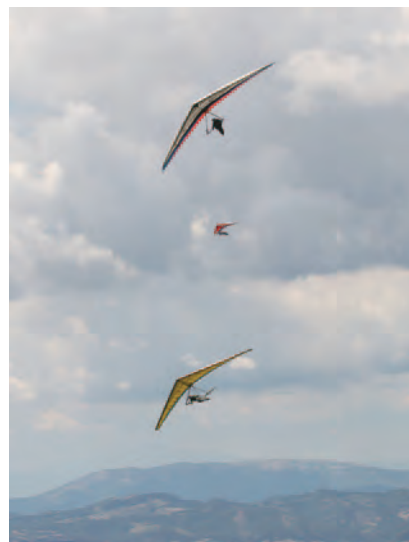
Q 海外でフライトする予定です。国際技能証はどのようにしたら取れるのですか。

A JHF技能証をお持ちでしたら、国際パイロット技能証 (IPPIカード、国際航空連盟発行・JHF委託作成) の申請ができます。申請書はJHFウェブサイトの「IPPIカードについて」からダウンロードできます。

Q ランディングの際、他の方のグライダーを傷付けてしまいましたが、フライヤー登録の更新を忘れていました。どうなりますか。

A フライヤー登録有効期限が切れていると賠償責任保険の対象になりません。フライトの際は、有効期限を必ずご確認ください。

Q パラグライダーのランディングで駐車している車を傷つけてしまいました。賠償責任保険の手続きをしたいのですが。



フライヤー登録の更新を忘れず、楽しいフライトを！

A まずJHF事務局にご連絡ください。

フライヤー登録番号、お名前、事故の日時、場所、状況、損害の程度等を教えてください。東京海上日動の連絡先、保険の手続き方法をお伝えします。

事務局が休業等の場合は、直接東京海上日動安心110番 (0120-119-110) へご連絡のうえ後日JHF事務局にもお知らせください。

Q JHF総合保障制度に加入しています。救援者費用はツリーランの場合でも対象になりますか。

A ツリーランの場合、グライダーの回収費用は対象外です。

ご本人の緊急な捜索・救助活動は対象となります。救助が必要なことが公的機関 (警察や消防署等) で確認された証明が必要になりますので必ず連絡してください。

海外での救援費用も対象になりますが、その際も公的機関 (警察や消防署等) で確認された証明が必要になります。

以上、ご存知でしたか。ご不明な点はJHF事務局にお気軽にお問い合わせください。今回掲載以外のことでも結構です。

TEL.03-5834-2889

FAX.03-5834-2089

E-mail: info@jhf.hangpara.or.jp

東日本大震災被災地復興応援プロジェクト「空はひとつ」

あの3月11日からもうすぐ1年。東日本大震災の被災地では、厳しい寒さと状況が続いています。

JHFでは、空の仲間だけでなく、いつもフライトを暖かく見守ってくださる地域住民の皆さまが一日も早く平穏な暮らしに戻れるようお願い、被災地復興応援プロジェクト「空はひとつ」を展開しています。その一環として、全国のフライヤー、正会員（都道府県連

盟）、スクール、クラブ、競技会参加者から義援金をお寄せいただいております。日本赤十字社を通じて被災者の皆さまに届くよう寄付をしています。2011年8月～11月末には202,325円（累計2,922,991円）が集まりました。今後、義援金を募っていきますので、さらにご協力いただければ幸いです。

◇義援金振込先

三菱東京UFJ銀行（銀行コード0005）

巣鴨支店（店番号770）

口座番号 普通 0017991

口座名義 公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

JHFレポート前号で、岩手・宮城・福島県の県連盟から近況報告をいただきましたが、宮城県連盟から、その後の報告が届きました。

宮城県ハング・パラグライディング連盟より

2011年は宮城だけでなく東北のパラフライヤーにとって忘れられない年となりました。震災の影響で様々なイベントも中止になり、各地でデモフライトの機会等も減ったのではないかと思います。また仙台ではエリアのロッジが放火に遭うなどの大きなトラブルもありました。

前号のJHFレポートでは「しばらく震災の影響で飛べないかも知れない」と報告した、大きな被災地である石巻・トヤケ森山の「うまっこ山エリア」を、周囲のご理解で11月よりオープンしました。写真上は2～3年前のもの、下は震災後、仮設住宅が立ち並ぶTOからの眺めです。TOで風待ちをしていると、仮設住宅にお住まいの方が散歩に登って来られたりして、色々な話をするふれあいの場でもあります。

そのように気合を入れた年でもあり、大会についても、毎年宮城県内各

エリアで実施している県連主催「政宗リーグ」を4戦行う予定でした。ところがどういうわけかお天気に恵まれず、延期などの対応をしたにもかかわらず今までにないことですが4戦全戦がキャンセル・中止になるという結果に……。本当に2011年は記憶にも記録にも残る年となってしまいました。

来年の宮城県連は、これにこりず政宗リーグを下記の通り行います（日程は変更可能性あり）。また新たに被災者向けフライト体験などもできないだろうかと話にでているところです。皆様、観光がてら、ぜひ宮城のエリアに遊びに来てください。

- 8/18～19 政宗リーグ in 泉ヶ岳（仙台・泉ヶ岳スカイランド）
- 10/7～8 オニコウベカップ（大崎・リゾートパークオニコウベ）
- 11/11 白石大根レース（白石・宮城蔵王白石エリア）



- 12/2 うまっこ山大運動会（石巻・うまっこ山）

※詳しくは宮城県連ホームページをご覧ください。

<http://mkenren.s51.xrea.com/>

大阪府フライヤー連盟総会及び近隣府県連絡会（仮称）開催のご案内

大阪府フライヤー連盟理事長 片岡義夫

大阪府はフライヤー会員は多いのですが、フライトエリアやスクール練習場がない（私の知る限りですが…）ためか、近年は総会を開催しても参加者がなく、実質連盟としての活動はほとんどできずにいました。

とはいえ、ここ2～3年は、予算的にも少し余裕ができ、近隣の府県連盟様のご協力があれば、今まで以上の活動ができると考えます。

そこで、今一度総会を開催し、会員の皆様のご意見を聞き、別案や反対意見がなければ、その時点で近隣府県連様との連絡会も同時開催し、賛同頂いた連盟様とは、情報交換、意見交換しながら、講習会、検定会、大会、イベント等を協力して行っていきたいと思っております。

また、近隣府県連の方（例：京都、奈良、和歌山、滋賀、兵庫等）で、今

回参加できなくても、連絡会に興味のある方は、大阪府フライヤー連盟（理事長 片岡）までご一報ください。

■大阪府フライヤー連盟総会及び近隣府県連絡会

日時：2012年2月25日（土）

総会 17:45～ 連絡会 18:00～

場所：和歌山県紀の川フライトパーク クラブハウス

第1回JHF映像コンテスト 作品募集!

ハンググライディング、パラグライディングをイメージアップし、空を飛ぶ楽しみを伝えられる動画、見た人が「いいなあ、やってみたいなあ」と感じる映像を募集します。お気軽にご応募ください。

■テーマ：【発見! 飛ぶって最高!!】

■作品時間：

◇ショート部門 1分以内

◇ロング部門 5分以内)

■募集締切：2012年5月31日必着

■賞金：

◇最優秀賞10万円

◇ショート部門 優秀賞5万円、入選（数点以内）1万円

◇ロング部門 優秀賞5万円、入選（数点以内）1万円

■審査員：別途ご案内します。

■応募資格：プロ・アマ・個人・団体は問いません。

■応募要項：

◇一人または一団体に付き何点でも応募できます。応募に伴う費用は応募者の負担とします。

◇作品はファイルで作成し、DVD-R（片面一層）に記録してお送りください。ビデオ形式ではなく、必ずデータでご応募ください。

◇応募された媒体は返却しません。

◇ファイル形式は、wmv、mov、avi、mpg、m4vなど、Windows Media Player、QuickTime Playerで再生できる形式。

◇画像解像度は1920×1080dpi以下。

◇フレームレートは次のいずれかにしてください。23.987fps、24fps、29.97fps、30fps、59.94fps。

◇応募用紙とは別にDVDの表にお名前とタイトルをご記入ください。

◇注意事項・詳細は応募用紙をご覧ください。応募用紙はJHFウェブサイ

トからダウンロードしていただくかJHF事務局にご請求ください。

◇音楽を使用する場合は、オリジナル楽曲を使用してください。

◇第三者の著作権、著作隣接権その他の権利を侵害するおそれがある音楽は使用できません。

予告 第2回JHFフォトコンテスト開催!

第1回JHFフォトコンテストに多数のご応募をいただき、ありがとうございました。応募作品のハンググライダー、パラグライダーの写真は、ご本人の承諾を得て普及のためにも活用させていただきます。

さて、お待たせしました。近日中に第2回フォトコンテストの開催を予定しています。素敵な写真を撮りためておいてください。詳細はJHFレポート次号、JHFウェブサイト等でご案内します。



第1回JHFフォトコンテスト応募作品 岡本芳隆「お花畑で体験飛行」

JHFからのお知らせ

■事務局が引越しました

旧事務所は耐震基準を満たしていなかったため、2011年12月5日に引越しました。新しい住所・電話・FAXは下記のとおりです。

〒114-0015 東京都北区中里1-1-1-301
TEL.03-5834-2889 FAX.03-5834-2089
メールアドレス等は変更ありません。

■技能証申請書記入についてのお願い

技能証申請書は裏面の記入項目をご確認の上、申請してください。

練習課定技能証及びパイロット技能証の申請は、③の飛行誓約書も必要になります。

未成年の方は、⑨保護者承認書へのご記入、ご捺印もお忘れなくお願いします。

HGパイロット、PGノービスパイロット、MPGパイロットの申請には、ご本人確認ができるものの写しを添付してください。(例：住民票、免許証、パスポート、保険証等)

■EN規格紹介DVD・日本語版作成

パラグライダーの安全規格・ENスタンダードについて、エア・ターコイズ社では、広報のため2009年に英語・フランス語・イタリア語・スペイン語などの多国言語のDVDをヨーロッパで無償配布しました。日本でも入手し講習会などで使用されていましたが、テレビ方式がPAL信号でした。エア・ターコイズ社の承諾を得て日本語字幕版をNTSC方式でDVDとして用意しています。ご希望の方へは無料でお送りしますので、枚数、送付先等をご連絡ください。

■JHFステッカーを販売しています

JHFロゴにハングライダーとパラグライダーの画像を加えたものと、ロゴのみのステッカーを2種類作成しました(ステッカーデザイン: ボランティア堀江譲氏)。2種類1セットを製造原価とほぼ同額の送料込み500円でお送りします。

ご希望の方は、☐フライヤー会員 No. ☐お名前 ☐注文セット数 ☐住所 ☐連絡先電話番号 ☐メールアドレスを、メール・FAX・郵便などでJHF事

務局にご連絡ください。入金確認後発送しますので、JHFの口座にお振込みいただくか、50円または80円の郵便切手で金額分をお送りください。



■住所変更届のお願い

JHF事務局からお送りした登録更新案内やJHFレポートが「転居先不明」等で多数戻って来ます。住所を変更された方は、お手数をおかけしますが下記項目をメール、FAX、郵便などでご連絡ください。

☐フライヤー会員No. ☐お名前 ☐変更後のご住所 ☐連絡先電話番号 ☐メールアドレス

コンビニにて更新の手続きをする場合は、払込票の控えは事務局に届きません。払込票にて新しいご住所をご連絡いただく際はゆうちょ銀行にてお手続きください。

■口座振替のご案内

フライヤー会費は口座振替(自動振込)ができます。郵便局やコンビニに払い込みに行かず、更新忘れによる無保険飛行も防げます。年会費5,000円が4,800円で振込手数料もかかりません。

登録更新案内に、口座振替案内と申込用紙を同封していますが、更新時期ではない方も予めお申込みいただけますので、お問い合わせください。

■JHF備品を貸出しています

JHFでは下記備品の貸出をしています。ご希望の方は「JHFウェブサイト」→「会員ページトップ」→「フライヤーサポートデスク」→「登録申請・各種用紙」より備品貸出依頼書をダウンロードしていただき、必要事項を記入・入力して、FAXかメールにてお申込みください。備品の返却にかかる送料はご負担をお願いします。

◇自動体外式除細動器(AED)

公認大会やイベント主催者に無料で貸出。申込条件：消防署や日本赤十字社等のAEDを使った救命法講習会を

受講した方がいること。

◇ボロジメーター

キャノピー等のエア漏れを計測する機械。スクール・クラブ等を対象に貸出。貸出期間は2週間以内。貸出料5,000円。

◇スカイレジャー航空無線機

スカイスports専用の周波数で使う無線機(465.1875MHz)。JHF会員を対象に、大会やイベントでのご利用のために貸出。貸出料は1,000円/台。申込条件：ご利用者の中に「第三級陸上特殊無線技士」免許を持ち、JHF無線従事者に登録している方が1名以上いること。

◇デジタル無線機

JHF会員の皆様に無料貸出。JHFレポート194号でお知らせしたデジタル無線機を、販売代理店のご厚意により5台お借りしています。ぜひお試しください。

◇アルコール検知器

大会やイベント主催者に無料で貸出。前夜の飲酒がフライトに影響することもあります。事故防止のために新たに導入しました。ご利用ください。

■連盟名称表記について

JHFは昨春公益社団法人になりました。JHFからの発送書類や封筒は、社団法人時代の在庫がなくなるまで旧名称のものを使用しますので、ご理解ください。

■各種お申込みやお問合せはJHF事務局へご連絡ください。

公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟

〒114-0015 東京都北区中里1-1-1-301
TEL:03-5834-2889 FAX:03-5834-2089
E-mail:info@jhfhangpara.or.jp
http://jhfhangpara.or.jp/

* 神奈川県連盟より正会員ならびに神奈川県在住の方へ、福岡県連盟より福岡県在住の方へ、それぞれお知らせを同封しています。

JHFレポート 196号

発行日：2012年2月1日
発行：公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟 (JHF)
編集：JHF事務局
印刷：日本印刷株式会社